

# 研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&amp;FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



## 研修講座 外国語科・外国語活動②

### 「小中学校における言語活動を大切にしたい授業づくり

#### ～学習者用デジタル教科書を活用して～

【講師】 愛知教育大学 名誉教授 高橋美由紀 先生

7月26日（金）、講師に愛知教育大学の名誉教授高橋美由紀先生をお招きし、研修講座「外国語科・外国語活動②」を実施しました。

本研修講座では、学習者用デジタル教科書の具体的な活用例を取り上げていただきながら、言語活動を大切にしたい授業づくりについて学ばせていただきました。



はじめに、英語を読む学習（音読）での活用について学びました。具体的には、まず、Story を観て、コミュニケーションの場面を児童に理解させる。次に、学習者用デジタル教科書とネイティブ・スピーカーが話す音声を聞きながら本文を黙読したり、少し遅れて音読（シャドウイング）したりすることで、正確な音声に触れる。そして、個々の児童が、自分のペースで音声を止めたり、同じ箇所を繰り返し聞いたりすることで音のつながりに留意しながら練習する。これらを通して、定型表現を身に付けることが大切であることが分かりました。

次に、英語を話す学習での活用について学びました。教科書本文に付随した挿絵を順番に画面に流しながら、リテリング活動（英文を聞いたり読んだりした後、英文を再構成して伝えること）を行う。いきなり英文を読むことは難しい場合は、何について話していたか確認してから行う。英文を見ずに絵をヒントにしながら英語を話すことになるので、話すことの基礎的な練習になることが分かりました。また、チャンツの活用についても学びました。ペアになり、やりとりができる具体的な活動場面



を取り上げ、質問する人と答える人に分かれ、リズムに乗りながら発話することが基礎的な表現を身に付けることにつながる事が分かりました。

最後に、文章を書く学習での活用について学びました。Picture dictionary から語彙を選んで、語順を意識しながら書くこと。さらに、自分の書いた文を声に出して録音することで、自分の考えや気持ちが相手にうまく伝わっているか振り返ることが大切であることを学びました。

#### アンケートより【一部抜粋】

・具体的な事例をもとにデジタル教科書の活用方法を教えていただきました。会話の例文のレポートで終わるのではなく、例文の続きをペアやグループ学習でつないでいくことの大切さを教えていただき、今後の指導の参考になりました。（小）

・今回の研修から音声を聞くこと・発話することは学習内容の定着に欠かせないものであると改めて感じたので、今後の授業でもコミュニケーションの場を増やしたり、積極的にデジタル教科書を活用したりしていきたいです。（中）